

中学・高校生～

2024年9月 no.91

よんでネット* 2024 秋号

発行口茅ヶ崎市立図書館／協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会



小学館
[943エ]

ロドリゴ・ラウバインと従者クニルプス

ミヒャエル・エンデ ヴィーラント・フロイント

木本栄訳 junaida 絵

こわいもの知らずの少年クニルプスは、冷酷で残忍な盗賊騎士ロドリゴ・ラウバインの従者になりたいと家出した。ところが、ロドリゴは評判とは反対にこわがり屋だった。自分の正体がばれては困るので、できるだけすごい悪事を働いてこいと言って少年を追い出した。この後クニルプスは、お姫さまを誘拐するのだが… 彼は従者になれるのか？

世界の名作文学から ホリデーのごちそう料理帳

アリソン・ウォルシュ 白石裕子訳

著者は、料理と物語の世界を融合させたレシピを SNS で紹介している。ハロウィンには『吸血鬼ドラキュラ』の“どろぼう焼き”、新年には『不思議の国のアリス』の“わたしを食べてケーキ”はいかが？ この本には、さまざまなレベルのレシピが載っているから、わたしにも楽しく作れそう！ が、きっとある。

(『世界の名作文学から ティーパーティーの料理帳』もあります)



原書房

[596ウ]



理論社
[913ハ]

この川のむこうに君がいる 濱野京子

東日本大震災の被災者であることを隠し、まっさらな状態で高校生活を始めたと思った梨乃。同じ中学出身者のいない東京の高校を選んだ。ところが入部した吹奏楽部で、福島から来た遼と出会う。彼は原発の事故や津波の事も、まわりに話していた。ある時、梨乃は遼にだけ自分も被災者だと打ち明ける。悩みも苦しみも違う二人だが、心に響き合うものを感じていた。そして…。

どんぐり たてのひろし

ページをめくるたび ^{かす}微かな音や息づかいが聞こえてきそう。秋、大きく実ったどんぐりが落ちる。次々落ちる。ねずみがかじる。鳥がどんぐりをくわえ、羽ばたく。春、どんぐりが芽吹く。その葉を食べる動物や虫。季節を越えて巡る生命。

森の生き物の営みを そっとのぞいているような 繊細な絵だけの本です。



小峰書店
[E・絵本のコーナー]



岩崎書店
でんき [28マ]

カムイの大地 北海道と松浦武四郎 泉田もと

^{えんがち}蝦夷地-異民族の住む地-と言われていた江戸時代の北海道。松浦武四郎はこの地に惹かれ探査隊の一員として訪れた。本州から来る和人は、蝦夷で暮らすアイヌ民族を差別的に扱うが、武四郎だけはアイヌ民にとけこみ、言葉を教わり、探査の間に様々な村を訪れアイヌの文化や生活の記録を残した。

だがそんな武四郎の行動を ^{いたく}快く思わない和人もいて…。